

日本宗教学会

# 第49回学術大会

期 日 1990年9月28日(金)～30日(日)

会 場 大 谷 大 学  
京都市北区小山上総町22

## お知らせ・お願い

1. 受付で名札をお受け取りください。
2. 受付には学会本部が出張しております。学会費未納の方はお納めください。
3. 研究発表者は、なるべく発表の二番前には、その部会会場へおいでください。
4. 研究発表は一人15分、質問時間は5分となっています。発表時間の厳守をお願いいたします。
5. 研究発表のレジュメ（1600字程度）を部会責任者にお渡しください。  
（9月30日午後4時締め切り。以後は一切受け付けませんのでご注意ください。）
6. 荷物は所定のクロークをご利用ください。
7. 大会期間中、講堂棟地下の食堂、及び、研究発表会場1階の喫茶室が営業しておりますので、会員休憩所としてご利用ください。
8. 学内での駐車はできませんので、お車での来学はご遠慮ください。
9. 9月28日～30日の大会期間中、大会本部への電話連絡は次の番号をご使用ください。

TEL (075) 432-3137 (学会専用)

受付  
会員休憩所  
クローク  
日本宗教学会本部  
学術大会本部

正門内ピロティ  
1号館1階喫茶室  
1号館1階1205教室  
1号館1階教員控室  
1号館2階1202教室

# 日 程

## 9月28日（金）

学会賞選考委員会	（博綜館5階第2会議室）	12：00～14：00
『宗教研究』編集委員会	（博綜館5階第2会議室）	16：00～17：00
公開講演会	（講堂）	14：00～17：00
「靈性的自覚——鈴木大拙没後25周年を機縁として」		
「満之と大拙」	大谷大学学長	寺川俊昭
「超越と時間」	京都大学名誉教授	武内義範
理事会	（博綜館5階第1会議室）	17：30～20：00

## 9月29日（土）

開会式	（講堂）	9：30～10：00
研究発表	（1号館各教室）	10：00～12：00 13：30～17：30
特別部会	（1号館2階1211教室）	10：00～12：00
「鈴木大拙における宗教研究」		13：30～17：30
評議員会	（博綜館5階第1会議室）	12：00～13：30

## 9月30日（日）

研究発表	（1号館各教室）	9：30～12：10 13：30～16：10
特別部会	（1号館2階1211教室）	9：30～11：30
「鈴木大拙における宗教研究」		
『宗教研究』編集委員会	（博綜館5階第2会議室）	12：10～13：30
総会・閉会式	（講堂）	16：15～17：30
写真撮影		
懇親会	（講堂棟地階学内食堂）	18：00～20：00

※ 各会場については、12頁の案内図をご覧ください。

## 第 1 部 会 (1110教室)

9月29日(土) 午前(10:00~12:00)

- |                                      |                     |
|--------------------------------------|---------------------|
| 1. 宗教学と民族主義の問題                       | 深 沢 英 隆 (東 京 工 芸 大) |
| 2. 岸本英夫「宗教の定義」の実践価値                  | 中 本 光 省             |
| 3. 他者経験について                          | 土 井 道 子             |
| 4. 宗教的選択について                         | 加 藤 智 見 (東 京 工 芸 大) |
| 5. 宗教的対話の原点 —浄土真宗の立場から—              | 野 村 伸 夫 (龍 谷 大)     |
| 6. 宗教的達人と聖者<br>—ウェーバーとシェーラーの宗教的人格類型論 | 華 園 聰 磨 (東 北 大)     |

9月29日(土) 午後(13:30~17:30)

- |                                    |                     |
|------------------------------------|---------------------|
| 1. 超自然ということ                        | 岩 本 一 夫 (東 京 工 芸 大) |
| 2. 宗教における個と共同体                     | 小 田 淑 子 (京 都 女 大)   |
| 3. 民衆宗教におけるコスモゴニーについて              | 松 井 圭 介 (筑 波 大)     |
| 4. エリアード宗教理論に関する一考察                | 奥 山 倫 明 (東 京 大)     |
| 5. ロバートソン・スミスにおける聖俗論の形成            | 藤 原 聖 子 (東 京 大)     |
| 6. Fetishism 再考 —宗教研究における象徴概念の有効性Ⅱ | 寺 戸 淳 子 (東 京 大)     |
| 7. 現代世界の民衆宗教と宗教学の問題                | 荒 木 美 智 雄 (筑 波 大)   |
| 8. ハレ・ケ・ケガレと聖俗理論                   | 池 田 昭 (中 京 大)       |
| 9. 宗教民族学の方法に関する一二の問題               | 堀 越 知 巳 (早 稲 大)     |
| 10. 種族的対立と宗教の「機能」                  | 高 橋 涉 (宮 城 学 院 女 大) |
| 11. 宗教学類型論とイデアリティパス                | 金 井 新 二 (東 京 大)     |
| 12. ヨーロッパの人間類型とその根底への問いかけ          | 楠 正 弘 (武 蔵 野 女 大)   |

9月30日(日) 午前(9:30~12:10)

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1. 聖化と非聖化(世俗化)       | 笹 尾 典 代 (筑 波 大)   |
| 2. ユングの「集約的意識」について   | 垂 谷 茂 弘           |
| 3. 「父殺し」としての宗教学      | 島 田 裕 巳 (日 本 女 大) |
| 4. 宗教における個性性と普遍性     | 気 多 雅 子 (金 沢 大)   |
| 5. 神の視座あるいは創造の論理について | 山 下 豊 (関 西 学 院 大) |
| 6. 信仰の現象学と聖典理解       | 沢 井 義 次 (天 理 大)   |
| 7. 祈りの人間論序説          | 棚 次 正 和 (仏 教 大)   |
| 8. いくつかの警告 —死の問題性から— | 鈴 木 康 治 (獨 協 大)   |

9月30日(日) 午後(13:30~16:10)

- |                                       |                       |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1. フェミニズムからみた比較宗教                     | 大 越 愛 子 (近 畿 大)       |
| 2. 女性神学における受容                         | 一 色 義 子 (恵 泉 女 学 園 大) |
| 3. メキシコ、トラホムルコのカトリック宗教文化複合の研究         | 野 村 暢 清 (久 留 米 大)     |
| 4. 細川千巖の『釈教正謬』批判 —仏基の対論(5)            | 芹 川 博 通 (淑 徳 短 大)     |
| 5. 「真宗の教学」とキリスト教神学<br>—「教学」「神学」概念の異同— | 高 田 信 良 (龍 谷 大)       |
| 6. 道の形而上学 —道元とイエス—                    | 門 脇 佳 吉 (上 智 大)       |
| 7. キリストの霊と禅での無我                       | 名 木 田 薫 (岡 山 理 科 大)   |
| 8. 念仏・ANAMNESIS・SACRAMENT             | J. ヴァン・ブラフト (南 山 大)   |

## 第 2 部 会 (1210教室)

9月29日 (土) 午前 (10:00~12:00)

- |                             |                   |
|-----------------------------|-------------------|
| 1. プロティノスに於ける英知の直知作用と一者との合一 | 森 本 聡 (京 大)       |
| 2. ウィリアム・ジェームズの宗教研究         | 吉 永 進 一 (京 大)     |
| 3. ソクラテスの死の訓練について           | 保 坂 幸 博 (東 海 大)   |
| 4. フランス・スピリチュアリズムの発生        | 岩 田 文 昭 (京 大)     |
| 5. 十六世紀フランス自由思想の一断面         | 玉 井 実 (東 京 工 芸 大) |
| 6. 19世紀イギリスにおけるスピリチュアリズム    | 山 中 弘 (愛 知 学 院 大) |

9月29日 (土) 午後 (13:30~17:30)

- |                               |                       |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. フィヒテの知識学に於ける道徳性について        | 美濃部 仁 (京 大)           |
| 2. ヘーゲル『精神現象学』における近代的主観性の克服   | 日 暮 雅 夫 (早 大)         |
| 3. ヘーゲルとジュリエット —愛の矛盾—         | 門 脇 健 (福 井 高 専)       |
| 4. ヘーゲルとヤコービ (ピエティスムスと彼ら)     | 中 島 秀 憲 (九 州 産 大)     |
| 5. ヘーゲルにおける自己意識の確信と憧憬         | 八 田 隆 司 (明 大)         |
| 6. ヘーゲルとユダヤ教                  | 水 見 潔 (奈 良 県 立 商 科 大) |
| 7. カントにおける「他者」の問題             | 木 村 勝 彦 (筑 波 大)       |
| 8. カントとケルケゴール —二律背反と逆説        | 佐 藤 幸 治 (大 阪 外 大)     |
| 9. カントの自由論                    | 谷 口 静 浩 (関 大)         |
| 10. カントの「現象」と「物自体」との区別に対する一解釈 | 仲 原 孝 (京 大)           |
| 11. ライブニッツにおける必然性             | 岡 部 英 男 (早 大)         |
| 12. 後期シェリング哲学における秘儀について       | 諸 岡 道比古 (弘 前 大)       |

9月30日 (日) 午前 (9:30~12:10)

- |                                     |                     |
|-------------------------------------|---------------------|
| 1. シェーラーにおける情緒的成層 —特に浄福と絶望について      | 浅 野 博 之 (東 北 大)     |
| 2. マックス・シェーラーの宗教的作用                 | 竹 原 弘 (徳 山 大)       |
| 3. 宗教哲学における「聖」の概念<br>—シェーラーの所論を中心に— | 宮 崎 真 矢 (東 北 大)     |
| 4. N. ハルトマンの無心論について                 | 長 江 弘 晃 (佐 野 女 短 大) |
| 5. フッサールの相互主観性論と菩薩像                 | 司 馬 春 英 (大 正 大)     |
| 6. ハイデggerにおける「最後の神」                | 谷 崎 秋 彦 (早 大)       |
| 7. 有・思索・間 —ハイデgger『哲学の寄与』を巡って—      | 秋 富 克 哉 (京 大)       |
| 8. ハイデggerに於ける「不安」と「意志」             | 石 倉 順 一 (花 園 大)     |

9月30日 (日) 午後 (13:30~16:10)

- |                                    |                     |
|------------------------------------|---------------------|
| 1. ティリッヒ・パラブル・パラドックス               | 芦 名 定 道 (大 阪 市 大)   |
| 2. エックハルトにおける 'principium' をめぐって   | 松 井 吉 康 (大 谷 大)     |
| 3. エックハルト『三部作』に於ける esse と iustitia | 松 田 美 佳 (京 大)       |
| 4. 転回後のリヒャルト・クローナー                 | 福 井 一 光 (玉 川 大)     |
| 5. 宗教的寛容の視座 —ロックにおける「信仰」           | 酒 井 サヤカ (日 本 歯 科 大) |
| 6. 言葉について —アウグスティヌスとヴィトゲンシュタイン     | 小 阪 康 治 (早 大)       |
| 7. 旅するオットー —R. オットーにおける宗教の理論と現実—   | 前 田 毅 (鹿 児 島 大)     |
| 8. 倫理思想としての永遠回帰の思想 —FW.341読解—      | 中 路 正 恒 (郡 山 女 大)   |

## 第 3 部 会 (1304教室)

9月29日(土) 午前(10:00~12:00)

- |    |                                     |                     |    |
|----|-------------------------------------|---------------------|----|
| 1. | マルコ福音書の物語性<br>— アリストテレスの『詩学』の視点から — | 挽 地 茂 男 (東)         | 大) |
| 2. | 新約聖書における宗教的回心<br>— ルカ文書とパウロ書簡を中心にして | 中 村 博 武 (長 崎 外 短 大) |    |
| 3. | パウロにおける「私」 — 第1コリント15, 9-11を中心に —   | 水 垣 渉 (京)           | 大) |
| 4. | 古代キリスト教における殉教の概念                    | 保 坂 高 殿 (大 妻 女 大)   |    |
| 5. | 十字架の聖ヨハネにおける人間観                     | 沢 田 愛 子 (北)         | 大) |
| 6. | マリア伝承の源流                            | 土 屋 博 (北)           | 大) |

9月29日(土) 午後(13:30~17:30)

- |     |   |                   |    |
|-----|---|-------------------|----|
| 1.  | 古代イスラエル預言者の審判預言                                   | 飛鳥井 雅 友 (東)       | 大) |
| 2.  | 一神教の概念とモーセの宗教体験                                   | 市 川 裕 (筑 波 大)     |    |
| 3.  | I. B. Singer, <i>Fool's Paradise</i> にみられるユダヤ教の本質 | 田 中 かの子 (駒 大)     |    |
| 4.  | デカルトにおける情念の定義について                                 | 辻 智 之 (関 西 学 院 大) |    |
| 5.  | パスカルのMémorial Folio Eの〈joye vécue〉について            | 清 田 寛 (大 東 文 化 大) |    |
| 6.  | パスカルのデカルト哲学観と回心A                                  | 宮 永 泉 (大 谷 大)     |    |
| 7.  | デュルケムの中心思想とその射程                                   | 宇都宮 輝 夫 (北)       | 大) |
| 8.  | デュルケム宗教論における「人間」の問題                               | 山 崎 亮 (東 北 大)     |    |
| 9.  | メルロ＝ポンティにおける哲学と宗教                                 | 阿 部 文 彦 (早 大)     |    |
| 10. | ジョルジュ・バタイユの宗教史の構想                                 | 檜 尾 直 樹 (東 大)     |    |
| 11. | レヴィナスにおける死の思想                                     | 谷 口 龍 男 (早 大)     |    |
| 12. | ル・フォールにおける復活                                      | 八 木 博 (山 梨 大)     |    |

9月30日(日) 午前(9:30~12:10)

- |    |                                    |                   |    |
|----|------------------------------------|-------------------|----|
| 1. | アウグスティヌスにおける神の安息<br>— 創世記注解をめぐって — | 梅 原 久美子 (京)       | 大) |
| 2. | 使徒教父文書における「懈怠」について                 | 久 山 道 彦 (京 大)     |    |
| 3. | パラケルススの自然学                         | 岡 部 雄 三 (阪 大)     |    |
| 4. | ベルナルドゥスの聖母論                        | 笠 井 貞 (東 洋 大)     |    |
| 5. | 「内面の城」 — アピラの聖テレジアの「魂」把握           | 鶴 岡 賀 雄 (工 学 院 大) |    |
| 6. | 神の探求 — 十字架の聖ヨハネとアウグスティヌス —         | 山 崎 裕 子 (文 教 大)   |    |
| 7. | アンセルムスの humilitas 論                | 矢 内 義 顕 (神 田 外 大) |    |
| 8. | アンセルムスの美の神学                        | 古 田 暁 (神 田 外 大)   |    |

9月30日(日) 午後(13:30~16:10)

- |    |                            |                   |    |
|----|----------------------------|-------------------|----|
| 1. | ロバート・グロウテストの自由意志論          | 降 旗 芳 彦 (東 海 大)   | 大) |
| 2. | トーマス・ミュンツァーとヨアキム主義的歴史解釈    | 木 塚 隆 志 (東 大)     |    |
| 3. | 新英語訳聖書の翻訳に見られるキリスト論        | 木 原 範 恭 (近 大)     |    |
| 4. | 新しい「文学批評」とヨハネ福音書研究         | 佐々木 啓 (北 大)       |    |
| 5. | 日本の神学 — 「福音の土着」のために        | 新 藤 泰 男 (桜 美 林 大) |    |
| 6. | 若きカール・バルトの思惟に於ける「運動」のカテゴリー | 宮 村 重 徳 (法 大)     |    |
| 7. | K・ギュツラフの宣教論に於ける諸宗教の問題      | 横 手 征 彦           |    |
| 8. | 神概念の三一論的構造                 | 小 川 圭 治 (筑 波 大)   |    |

## 第 4 部 会 (1305教室)

9月29日 (土) 午前 (10:00~12:00)

- |                                     |                  |
|-------------------------------------|------------------|
| 1. キルケゴールにおける運動の問題 —ヘーゲル批判の視座から     | 平 林 孝 裕 (筑 波 大)  |
| 2. キルケゴールにおける2つのキリスト教<br>—「反復」と「倣い」 | 荒 井 優 (愛 知 大)    |
| 3. ルターとキルケゴール                       | 早乙女 礼子 (大 阪 体 大) |
| 4. キルケゴールとティリッヒ                     | 高 橋 洋 介 (花 園 大)  |
| 5. ティリッヒと歴史                         | 山 中 利 美 (中 部 大)  |
| 6. ティリッヒ『組織神学』(4) —理性について—          | 日下部 哲夫           |

9月29日 (土) 午後 (13:30~17:30)

- |                                  |                     |
|----------------------------------|---------------------|
| 1. 統治理念としての祖先崇拜 —『孝経』の成立とその思想    | 池 沢 優 (東 大)         |
| 2. 管見 一貫道の現況                     | 篠 原 寿 雄 (駒 大)       |
| 3. 亀トと道教 —「急急如律令」の呪句について         | 椿 実 (江 戸 川 区 教 育 研) |
| 4. 『提謂波利経』と五行思想 (Ⅱ)              | 春 本 秀 雄 (大 正 大)     |
| 5. 『楚辞』離騒に関する一考察                 | 森 雅 子 (慶 大)         |
| 6. 『漢書』郊祀歌十九章に見える宗教思想            | 栗 原 圭 介 (大 東 文 化 大) |
| 7. アフマデーヤ派ムスリムの動向について            | 磯 崎 定 基 (大 東 文 化 大) |
| 8. アブドゥル・ジャッパールにおける「心の平静」        | 塩 尻 和 子 (日 大)       |
| 9. シーア派イスラーム神学の形成 —アッラーマ・ヒッリーの方法 | 鎌 田 繁 (東 大)         |
| 10. イスラーム神秘主義思想における一元論と二元論       | 東 長 靖 (東 大)         |
| 11. ナギーブ・マフフーズのイスラーム観            | 八 木 久 美 子 (東 大)     |
| 12. ムスリムの「聖書」観                   | 中 村 廣 治 郎 (東 大)     |

9月30日 (日) 午前 (9:30~11:30)

- |                                       |                       |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1. 聖霊の時代と冬のお祭り騒ぎ<br>—ランターズ運動の宗教民俗史的側面 | 木 田 理 文 (文化伝承研究センター)  |
| 2. プロアスター教徒パーシーの通婚と養取の形態について          | 中別府 温 和 (西 南 女 学 院 大) |
| 3. シク教における神秘主義の展開                     | 保 坂 俊 司 (東 方 学 院)     |
| 4. バタック族の呪術について                       | 山 本 春 樹 (天 理 大)       |
| 5. シャドラファとミトラス                        | 小 川 英 雄 (慶 大)         |
| 6. ゲルマンにおける神の馬の宗教的意味の考察について           | 植 田 重 雄 (早 大)         |

9月30日 (日) 午後 (13:30~16:10)

- |  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 親鸞と森田療法                             | 田 原 圭 介               |
| 2. 高校における宗教教育の現状(1)<br>—全国私立高校宗教教育調査から | 田 島 忠 篤 (明 の 星 女 短 大) |
| 3. 高校における宗教教育の現状(2)<br>—全国私立高校宗教教育調査から | 岩 井 洋 (上 智 大)         |
| 4. 若者の宗教の断絶と宗教の社会性                     | 高 橋 正 巳 (吉 備 国 際 大)   |
| 5. 宗教と教育 —仏教における教育思想—                  | 渡 辺 寛 勝 (身 延 山 短 大)   |
| 6. 離僧教育における職業倫理について                    | 荒 川 元 暉 (正 眼 短 大)     |
| 7. キリスト教大学における一般教養と専門教育の関係             | 雨 貝 行 麿 (東 北 学 院 大)   |
| 8. 宗教教育と道德教育                           | 斉 藤 昭 俊 (大 正 大)       |

## 第 5 部 会 (1306教室)

9月29日 (土) 午前 (10:00~12:00)

- |                                 |                   |  |
|---------------------------------|-------------------|--|
| 1. 阿毘曇心論の業品について                 | 智 谷 公 和           |  |
| 2. 須菩提と釈提桓因 — 『般若経』と『増一阿含経』 —   | 勝 崎 裕 彦 (大 正 大)   |  |
| 3. マッカリ・ゴースーラの教説 — アージーヴィカ教再考 — | 渡 辺 研 二 (淑 徳 短 大) |  |
| 4. 仏教興起時代の思想家と形而上学的課題           | 茨 田 通 俊 (大 谷 大)   |  |
| 5. buddhatva- 考                 | 渡 辺 郁 子 (東 洋 大)   |  |
| 6. 阿弥陀如来は人格神ではなかったのか            | 津 田 真 一 (東 方 学 院) |  |

9月29日 (土) 午後 (13:30~17:30)

- |                                    |                           |
|------------------------------------|---------------------------|
| 1. 生死一如 — videhamukti をめぐって —      | 伊 藤 道 哉 (東 北 大)           |
| 2. 業思想の南方仏教における展開                  | 柏 原 信 行 (龍 大)             |
| 3. サイヴァシッタ派の仏教批判書<br>— 特に経量部を中心として | 彦 坂 周 (ア ジ ア 文 化 研)       |
| 4. 原始仏典における老いの説示について               | 竹 中 義 実 (曹 洞 宗 教 化 研)     |
| 5. āramika 考                       | 田 崎 国 彦 (東 洋 大)           |
| 6. ヨーガとしての現観                       | 谷 口 富 士 夫 (日 本 学 術 振 興 会) |
| 7. 法界縁起思想の系譜                       | 石 橋 真 誠 (京 都 文 教 短 大)     |
| 8. 求那跋陀羅訳出經典における「如来蔵」の概念           | 織 田 顕 祐 (大 谷 大)           |
| 9. 五教章の三性説の解釈をめぐって                 | 木 下 富 夫 (岡 山 理 大 付 属 高)   |
| 10. 七階礼懺と『往生礼讃』                    | 桑 原 勇 慈 (大 正 大)           |
| 11. 禅林寺所蔵『釈浄土群疑論』元徳版について           | 村 上 真 瑞 (仏 教 大)           |
| 12. 群疑論に於ける中有説                     | 金 子 寛 哉 (大 正 大)           |

9月30日 (日) 午前 (9:30~12:10)

- |                                       |                     |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1. 華嚴観法の実践性                           | 陳 永 裕 (駒 大)         |
| 2. 曇鸞『論註』における論理と譬喩について                | 遠 山 諦 虔 (日 大)       |
| 3. 菩薩行としての自行化他行                       | 水 尾 現 誠 (四天王寺国際仏教大) |
| 4. 自灯明一乗論について                         | 吉 津 宜 英 (駒 大)       |
| 5. 中国唐代仏教者の宗教観について<br>— 慧苑と澄観を中心として — | 盧 在 性 (大 正 大)       |
| 6. 大乘五方便の諸本について — 『通一切経要義集』を中心に —     | 伊 吹 敦 (早 大)         |
| 7. 五重唯識における撰末帰本識に関する一考察               | 後 藤 康 夫 (龍 大)       |
| 8. 天台大師の仏国土観                          | 村 中 祐 生 (大 正 大)     |

9月30日 (日) 午後 (13:30~16:10)

- |                          |                   |
|--------------------------|-------------------|
| 1. 中観派における声聞の位置          | 加 藤 均 (大 谷 大)     |
| 2. 宗義書の三性説理解 — ゲルグ派 —    | 高 田 順 仁 (大 谷 大)   |
| 3. 仏像崇拜について              | 寺 崎 敬 道 (駒 大)     |
| 4. 仏陀の永遠回帰の神話            | 岡 野 潔 (東 北 大)     |
| 5. 「四種法界」考               | 斉 藤 明 (三 重 大)     |
| 6. ディグナーガの原子論批判          | 寺 石 悦 章 (筑 波 大)   |
| 7. 新発見・七寺蔵十六卷仏名経について     | 落 合 俊 典 (華 頂 短 大) |
| 8. 『唯識三十頌』の vikalpa について | 阿 理 生             |



## 第 6 部 会 (1310教室)

9月29日(土) 午前(10:00~12:00)

- |                                  |                |
|----------------------------------|----------------|
| 1. 凝然と禪                          | 池 要 (龍 大)      |
| 2. 『理趣経』付加句をめぐる諸問題(二)            | 武内孝善 (高野山 大)   |
| 3. 宗派再編成期における律宗の動向とその二重性         | 長谷部幽蹊 (愛知学院 大) |
| 4. 浄土教徒の社会的実践(IV) — 批判原理としての浄土 — | 菱木政晴 (西山短 大)   |
| 5. 西行における月の宗教的意味                 | 渡辺学 (南山 大)     |
| 6. 伝教大師最澄の「円機」                   | 木内堯央 (大正 大)    |

9月29日(土) 午後(13:30~17:30)

- |                               |                 |
|-------------------------------|-----------------|
| 1. 『正法眼蔵』における遍参について           | 栗谷良道 (曹洞宗宗学研)   |
| 2. 『天童小参抄』の諸本について             | 安藤嘉則 (曹洞宗宗学研)   |
| 3. 道元教説とその自在性                 | 岡島秀隆 (愛知学院 大)   |
| 4. 曹洞宗と国家                     | 工藤英勝 (曹洞宗教化研)   |
| 5. 道元禅師と諷経について                | 熊本英人 (曹洞宗宗学研)   |
| 6. 道元禅師における経典の意味 — ひとつの解釈 —   | 土田友章 (南山 大)     |
| 7. 道元禅師の批判の行方                 | 務台孝尚 (曹洞宗宗学研)   |
| 8. 西山派における当麻曼陀羅講説史について        | 伊藤正順 (龍 大)      |
| 9. 『興福寺奏状』について — 貞慶の法然保護手段説 — | 城福雅伸 (龍 大)      |
| 10. 法然浄土教と社会倫理                | 永井隆正 (知恩院浄土宗学研) |
| 11. 法然上人二十五霊場と寺院縁起            | 山本博子 (仏教 大)     |
| 12. 法然における念仏と授戒               | 玉城康四郎 (日 大)     |

9月30日(日) 午前(9:30~12:10)

- |                            |               |
|----------------------------|---------------|
| 1. 日蓮の宗教における父性原理について       | 原 慎定 (立正 大)   |
| 2. 中世日蓮宗僧侶の菟書活動            | 寺尾英智 (立正 大)   |
| 3. 日蓮『注法華経』研究の課題           | 関戸堯海 (立正 大)   |
| 4. 日蓮における回心と無常性認知の様式       | 大久保雅行 (久留米 大) |
| 5. 日蓮における謗法罪と救済            | 間宮啓壬 (東北 大)   |
| 6. 日蓮における仏陀のイメージ           | 渡辺宝陽 (立正 大)   |
| 7. 一遍の再出家考 — 「輪鼓」のことによせて — | 渡辺喜勝 (東北 大)   |
| 8. 一遍における機法一体について          | 早坂博 (東北福祉 大)  |

9月30日(日) 午後(13:30~16:10)

- |                                 |                 |
|---------------------------------|-----------------|
| 1. 親鸞と声点 — 唯信鈔の声点について —         | 金信昌樹 (大谷 大)     |
| 2. 親鸞の二種回向観                     | 籾 弘信 (大谷 大)     |
| 3. 親鸞における「罪」                    | 一 楽真 (大谷 大)     |
| 4. 親鸞の浄土観                       | 藤 嶽明信 (大谷 大)    |
| 5. 歎異抄における自我の問題                 | 西田真因 (真宗大谷派教学研) |
| 6. 至誠心の構造(3)                    | 宮田正深 (同朋 大)     |
| 7. 親鸞の「非僧非俗」の立場について             | 龜山純生 (東京農工大)    |
| 8. 親鸞における道德と宗教 — 安城の御影の讃文について — | 館 熙道 (富山 大)     |

## 第 7 部 会 (1410教室)

9月29日(土) 午前(10:00~12:00)

- |  |              |
|--|--------------|
| 1. 清沢満之と真宗大谷派 — リフォーマーとしての清沢満之 —         | 岡田正彦 (大正大)   |
| 2. 西田哲学における非連続の連続の概念                     | 小坂国継 (日大)    |
| 3. 西田哲学における宗教の問題                         | 中山一萱 (京都産大)  |
| 4. 究極の宗教<br>— エックハルト、久松真一、親鸞と西田哲学をめぐって — | 海辺忠治 (相愛大)   |
| 5. 井上円了の仏教観 — 真如と万法 —                    | 菅沼晃 (東洋大)    |
| 6. 三木清における親鸞理解について                       | 田辺正英 (富山医薬大) |

9月29日(土) 午後(13:30~17:30)

- |                                   |               |
|-----------------------------------|---------------|
| 1. フランス語文献における日本浄土教について           | 竹内真道 (仏教大)    |
| 2. 洞門近代教化と新編聖典                    | 深瀬俊路 (曹洞宗教化研) |
| 3. 生命倫理と仏教                        | 佐藤雅彦 (大正大)    |
| 4. 日本の国際化と禅の精神(二)                 | 原田弘道 (駒大)     |
| 5. 都市生活者の信仰行動について                 | 村上興匡 (東大)     |
| 6. 象徴体系としての都市 — 江戸を事例として —        | 曾野鈴子 (筑波大)    |
| 7. 「世俗化」の日本宗教史への適用可能性について         | 林 淳 (愛知学院大)   |
| 8. 教団と政治(2)                       | 佐久間光昭 (駒大)    |
| 9. 英国国教制の論理と分離主義 — 政教関係の類型論的考察 —  | 中野毅 (創価大)     |
| 10. 日本のナショナリズムと宗教                 | 笠井正弘 (西日本短大)  |
| 11. 占領下の宗教政策 — 文部省宗務課廃止論議を中心として — | 古賀和則 (龍大)     |
| 12. 明治後期の右翼勢力伸張に対するカトリックの対応       | 青山玄 (南山大)     |

9月30日(日) 午前(9:30~12:10)

- |                           |              |
|---------------------------|--------------|
| 1. 諏訪社大祝と職位式 — 即位儀礼の構成と要素 | 島田 潔 (国学院大)  |
| 2. 禊教の祓修行                 | 荻原稔 (府中養護学校) |
| 3. 佐藤定吉の神道観               | 岩瀬 誠 (国学院大)  |
| 4. 朝廷祭祀と宮寺制神社             | 佐藤真人 (国学院大)  |
| 5. 古事記と大祓詞 — その共通性について —  | 白江恒夫 (芦屋大)   |
| 6. 近世神道思想研究・増穂残口の神像論      | 田辺建治郎 (国学院大) |
| 7. 吉田神道における亀卜研究について       | 出村龍日         |
| 8. 物実(ものざね) — 記紀英訳考 —     | 大垣豊隆 (神宮研)   |

9月30日(日) 午後(13:30~16:10)

- |                            |               |
|----------------------------|---------------|
| 1. 熊野別当家の成立                | 石倉孝祐 (北区史編纂室) |
| 2. 加賀白山縁起の別伝について           | 由谷裕哉 (小松短大)   |
| 3. 大嘗祭の御禊行幸における古儀の採用と踏襲の意識 | 中嶋宏子 (国学院大)   |
| 4. 神社案内記の流れ                | 森 瑞枝 (国学院大)   |
| 5. 幻の律令祭祀                  | 三橋 正 (大正大)    |
| 6. 儀礼における形式の問題             | 宇野正人 (江戸川女短大) |
| 7. 東北地方西部の神社巫女に関する一考察      | 森 正康 (松山東雲短大) |
| 8. 践祚大嘗祭の成立と律令制            | 松前 健 (奈良大)    |

## 第 8 部 会 (1312教室)

9月29日(土) 午前(10:00~12:00)

- |                                |                     |
|--------------------------------|---------------------|
| 1. 京都日蓮教団の本寺内法度 — 本法寺の事例を中心に — | 糸 久 宝 賢 (立 正 大)     |
| 2. 寺院職掌の選任法                    | 清 田 義 英 (多 摩 美 大)   |
| 3. 那智参詣曼陀羅にみえる補陀落渡海僧〔スライド使用〕   | 根 井 淨 (神 戸 常 盤 短 大) |
| 4. 女人禁制の霊場と開山の母公に対する信仰         | 日野西 真 定 (高 野 山 大)   |
| 5. 古代日本の冥界説話                   | 茂 木 秀 淳 (信 州 大)     |
| 6. 桂泉八葉山天台寺の山法について             | 月 光 善 弘 (山 形 女 短 大) |

9月29日(土) 午後(13:30~17:30)

- |                                       |                       |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1. 無墓制と真宗 — 真宗門徒における遺骨観念の系譜 —         | 本 林 靖 久 (大 谷 大)       |
| 2. 日本人の宗教的心性について — 祖先崇拜を中心として —       | 神 原 和 子 (東 京 工 芸 大)   |
| 3. 都市の木曾御嶽信仰                          | 菅 原 寿 清 (駒 大)         |
| 4. 都市寺院における〈供養儀礼〉の研究<br>— 現代人の靈魂観を通して | 武 田 道 生 (大 正 大)       |
| 5. 都市化による宗教観の変遷                       | 佐 村 隆 英               |
| 6. 神仏分離令以降の巫女の動向 — 陸中沿岸地方の事例から —      | 神 田 より子 (法 大)         |
| 7. 海と黄帝信仰                             | 菊 池 武 (砺 波 山 村 地 域 研) |
| 8. 大師宝キリーク字の研究                        | 斉 藤 彦 松 (梵 字 資 料 研)   |
| 9. 平安時代初期における天皇の出家                    | 藤 原 正 己 (堺 女 短 大)     |
| 10. 『上宮太子御記』の製作事由について                 | 柳 瀬 彰 弘 (啓 光 学 園 高)   |
| 11. ヤマトタケルノミコト物語の構造と成立                | 磯 前 順 一 (東 大)         |
| 12. 源氏物語の宗教性 — 「もののはれ」と「ものあわれ」        | 高 木 きよ子 (青 葉 学 園 短 大) |

9月30日(日) 午前(9:30~11:50)

- |                              |                         |
|------------------------------|-------------------------|
| 1. 聖体祭儀の典礼様式について             | 尾 田 泰 彦 (越 谷 市 立 北 陽 中) |
| 2. 柱松行事の諸相について(Ⅱ)〔スライド使用〕    | 竹 内 堅 丈 (愛 知 学 院 大)     |
| 3. 柱松行事の特質について               | 佐 藤 悦 成 (愛 知 学 院 短 大)   |
| 4. 先祖供養考(2)                  | 梅 津 礼 司 (中 央 学 術 研)     |
| 5. 洞門における在家葬法                | 佐 藤 昌 史 (曹 洞 宗 教 化 研)   |
| 6. 禅宗文化とその背景 — 信仰・儀礼を中心として — | 金 子 和 弘 (曹 洞 宗 宗 学 研)   |
| 7. 即身仏の村落神化 — 祭祀集団の変化とその諸契機  | 佐 島 隆 (東 北 大)           |

9月30日(日) 午後(13:30~15:50)

- |   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 江戸初期のキリシタンとスティグマ                     | 丸 茂 湛 祥 (立 正 大)     |
| 2. 臨終における「いきあひ」について                     | 長谷雄 文 彰 (大 正 大)     |
| 3. 臨終正念と中なおり現象                          | 池 見 澄 隆 (仏 教 大)     |
| 4. 沖縄の伝統宗教とキリスト教(1)                     | 小 川 順 敬 (駒 大)       |
| 5. 沖縄の伝統宗教とキリスト教(2)〔スライド使用〕             | 池 上 良 正 (筑 波 大)     |
| 6. わが国における鬮腰誦経の説話の成立に関する一管見<br>〔スライド使用〕 | 諏 訪 義 純 (愛 知 学 院 大) |
| 7. 天理参考館所蔵の中国民俗関係資料の二、三について<br>〔スライド使用〕 | 窪 徳 忠 (東 大)         |

## 第 9 部 会 (1311教室)

9月29日(土) 午前(10:00~12:00)

- |                                       |                |
|---------------------------------------|----------------|
| 1. 西双版纳の宗教事情 — 堆沙の伝説と崇拜形態<br>〔スライド使用〕 | 大友康敬 (大谷大)     |
| 2. 西双版纳の宗教事情 — 仏教僧伽の現況について            | 宇治谷 顕 (名古屋音楽大) |
| 3. 西双版纳 傣族村落の民間宗教職能者                  | 浜田 哲也 (東大)     |
| 4. パンチェン・ラマの死と中国仏教界                   | 中濃 教篤 (日蓮宗現宗研) |
| 5. 中国浙江省における葬送儀礼と死者をめぐる人間関係           | 安達 義弘 (九大)     |
| 6. 神示の型と社会文化的状況 — 各地華人社会の事例から —       | 佐々木 宏幹 (駒大)    |

9月29日(土) 午後(13:30~17:30)

- |                                       |                 |
|---------------------------------------|-----------------|
| 1. 倫理的实践と現世利益 — 修養団捧誠会における「実行」—       | 松岡 秀明 (東大)      |
| 2. 男性教祖と女性教祖<br>— 民衆におけるジェンダー・シンボリズム  | 宮本 要太郎 (筑波大)    |
| 3. 教団機関紙にみる救済論の展開<br>— 弁天宗における論しと癒し — | 弓山 達也 (大正大)     |
| 4. 新宗教の考古学                            | 井上 順孝 (国学院大)    |
| 5. 新宗教の不浄観 — 女性をめぐる —                 | 薄井 篤子 (お茶の水女大)  |
| 6. 教団独立と中核にある神の変化                     | 田中 実 (兵庫県立長田高)  |
| 7. 新宗教における治病儀礼の変遷 — 善隣会の場合            | 津城 寛文 (日本学術振興会) |
| 8. 大本教に見られる人権尊重と平和思想について              | 出口 栄二 (早大)      |
| 9. 金光教における「運動」とその成果                   | 三宅 善信           |
| 10. 菩薩(ボサル)と呼ばれる韓国の民間宗教職能者について        | 川上 新二 (駒大)      |
| 11. 韓国巫俗とシャマニズム                       | 丹羽 泉 (ICU)      |
| 12. 教祖の思想形成過程 — 出居清太郎の場合              | 島 蘭 進 (東大)      |

9月30日(日) 午前(9:30~12:10)

- |                                       |               |
|---------------------------------------|---------------|
| 1. Nyāya-sūtra 1-1-4 の一考察             | 江里口 陽彦 (文化学院) |
| 2. Kauṣītaki Upaniṣad に於ける prāṇa と絶対無 | 沢井 高範 (立命館大)  |
| 3. 非家 (anagāra-) について                 | 杉岡 信行 (東方学院)  |
| 4. シュリ オーロビンド アシュラムの教育活動について          | 堀内 みどり (天理大)  |
| 5. オーロビンドの死をめぐる                       | 北川 清仁 (東方学院)  |
| 6. 古代トランス技術としての芸能〔スライド使用〕             | 河野 亮仙 (大正大)   |
| 7. 伝統としての宗教 — ヒンドゥ教とチベット仏教            | 葛西 実 (ICU)    |
| 8. スワートはタントリズムの故郷か〔スライド使用〕            | 松長 有慶 (高野山大)  |

9月30日(日) 午後(9:30~15:50)

- |  |                |
|--|----------------|
| 1. ルーマニアの農村文化と民間伝承について                   | 新免 光比呂 (東大)    |
| 2. 「女王」の従順: ジャマイカにおける女性信者の強さ<br>〔スライド使用〕 | 長嶋 佳子 (大阪学院大)  |
| 3. A. ジャドソンとその後のバ教会組織の展開と現地化の諸相          | 平木 光二 (東方学院)   |
| 4. 南インドのヴェーダ伝承 — フィールド調査報告 —<br>〔スライド使用〕 | 藤井 正人 (阪大)     |
| 5. フェミニスト視点のスリランカ上座部仏教                   | 山下 明子 (NCC宗教研) |
| 6. 『バロン・チャロナラン・サンギャン』バリの憑依儀礼をめぐる         | 嘉原 優子 (関大)     |
| 7. 19世紀におけるキリスト教のアフリカ伝道について              | 菅井 大果 (甲子園短大)  |

## 特別部会 (1211教室)

### 「鈴木大拙における宗教研究」

9月29日 (土) 午前 (10:00~12:00)

- |                           |                |
|---------------------------|----------------|
| 1. 鈴木大拙博士論 — 「日本的靈性」について— | 和田 真二 (大 谷 大)  |
| 2. 鈴木大拙と『教行信証』            | 安富 信哉 (大 谷 大)  |
| 3. 鈴木大拙の妙好人論              | 日隈 威徳 (文 教 大)  |
| 4. 鈴木大拙と妙好人               | 稲垣 不二麿 (愛 知 大) |
| 5. 鈴木大拙の妙好人観              | 佐藤 平 (大 谷 女 大) |
| 6. 妙好人の一考察                | 大屋 憲一 (大 谷 大)  |

9月29日 (土) 午後 (13:30~17:30)

- |  |                   |
|--|-------------------|
| 1. 証大涅槃の真因 — 大拙の真宗理解の一面—               | 小野 蓮明 (大 谷 大)     |
| 2. 鈴木大拙の東と西                            | 長井 英子 (関 東 学 院 大) |
| 3. 鈴木大拙における靈性的自覚についての<br>カトリック神学的一考察   | 岸 英司 (英 知 大)      |
| 4. 鈴木大拙における宗教研究の一視点<br>— 宗教経験の事実と思想化   | 築山 修道 (大 谷 大)     |
| 5. 靈性と大地                               | 浮田 雄一 (文 京 女 短 大) |
| 6. 鈴木大拙における「大地」について                    | 北野 裕通 (相 愛 大)     |
| 7. 大拙・晃水・栽松 — 郭堂を中心に—                  | 松本 皓一 (駒 大)       |
| 8. 道元の靈性批判 — 鈴木大拙の靈性と関連して              | 石井 修道 (駒 大)       |
| 9. 鈴木大拙氏の『正法眼蔵』批判について                  | 青竜 宗二 (駒 大)       |
| 10. ポール・ケーラスの汎宗教思想<br>— オープンコート社時代の貞太郎 | 西村 恵信 (花 園 大)     |
| 11. 般若即非の論理について                        | 坂本 弘 (大 谷 大)      |
| 12. 鈴木禅学と維摩經                           | 橋本 芳契 (金 沢 大)     |

9月30日 (日) 午前 (9:30~11:30)

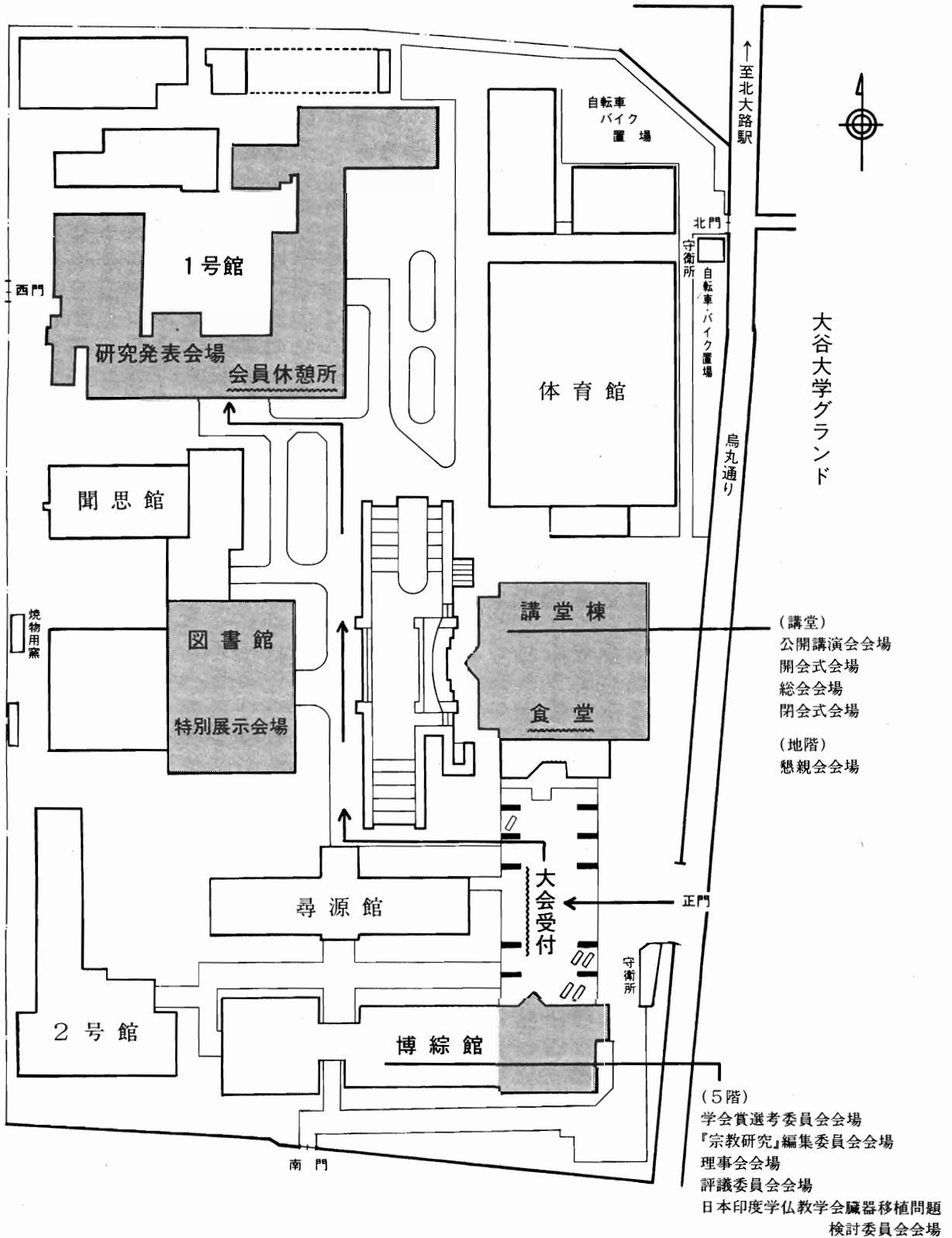
- |                        |                   |
|------------------------|-------------------|
| 1. キリスト教と禅             | 坂本 進 (輔 仁 大)      |
| 2. 鈴木大拙の世界文化論          | 石井 誠士 (京 大)       |
| 3. 大拙の浄土教観 — 還相をめぐる    | 竹村 牧男 (筑 波 大)     |
| 4. 『妄想録』をめぐる           | 堀尾 孟 (大 谷 大)      |
| 5. 鈴木大拙が見たカビールの禅       | 小林 円照 (花 園 大)     |
| 6. 鈴木大拙における禅と浄土との思想的接点 | 古田 紹欽 (松 ヶ 岡 文 庫) |



# 学内建物配置図

北大路通り

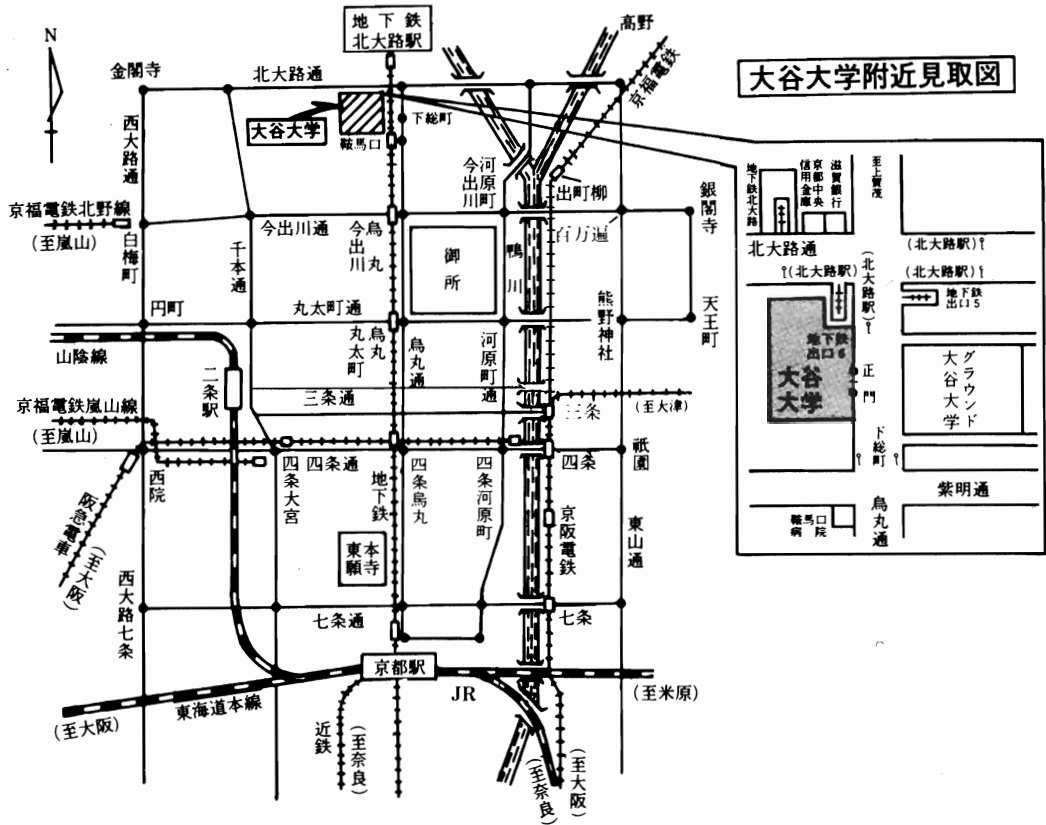
↑至北大路駅



# 大谷大学への案内図

京都市北区小山上総町22

電話 075-432-3137 (学会専用)



## 主な交通機関

### ● JR京都駅から

地下鉄…烏丸線 北大路行

大谷大学は「北大路」下車、出口6より南へ徒歩2分。

### ● 私鉄ターミナルから

#### (1) 四条烏丸から

地下鉄…烏丸線 北大路行

大谷大学は「北大路」下車、出口6より南へ徒歩2分。

#### (2) 三条京阪から

市バス…①系統(西賀茂車庫前行)「北大路バスターミナル」下車、大谷大学は南へ徒歩2分。

③7系統(上賀茂神社前行)「北大路バスターミナル」下車、大谷大学は南へ徒歩1分。

④7系統(北大路駅前行)「北大路バスターミナル」下車、大谷大学は南へ徒歩2分。

#### (3) 四条河原町から

市バス…205系統(市中心部循環系統)「北大路バスターミナル」下車、大谷大学は南へ徒歩2分。